

第9回

バナナ・果物 消費動向調査

日本バナナ輸入組合
2013年7月
(8月7日はバナナの日)

目次

調査概要	2
調査結果	
よく食べる果物	3
果物を食べる頻度	3
バナナを食べることが多いタイミング	4
朝食に食べる物	4
バナナを食べる頻度	5
この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由	5
バナナを食べる理由	6
バナナを食べているシーン	6
知られているバナナの栄養素	7
知られているバナナの効果・効能	7
気になるバナナの効果・効能	8
知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能	8
バナナを買うときの基準	9
バナナの価格意識	9
知られているバナナの熟度	10
バナナの若返り(アンチエイジング)効果	10
統計資料	11

調査概要

●調査目的

本年で9回目の調査となる『バナナ・果物消費動向調査』では、例年に引き続き、バナナの食用実態や購入実態の把握を目的とするとともに、バナナの栄養素や効果・効能、熟度、さらにはバナナの若返りへの効用に対する一般消費者の認知度についても調べました。

●サマリー

バナナは9年連続よく食べる果物で1位となりました。

バナナの栄養素としては、昨年に引き続き「食物繊維」「糖質」「カリウム」などの認知度が高く、気になるバナナの効果・効能としては、昨年とはやや順位が前後してはいるものの、「免疫力を高める」「豊富な食物繊維により消化を助ける」「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」などが上位を維持しています。

●調査対象：全国16歳以上の男女

●調査時期：2013年06月25日～2013年06月26日

●調査方法：インターネット

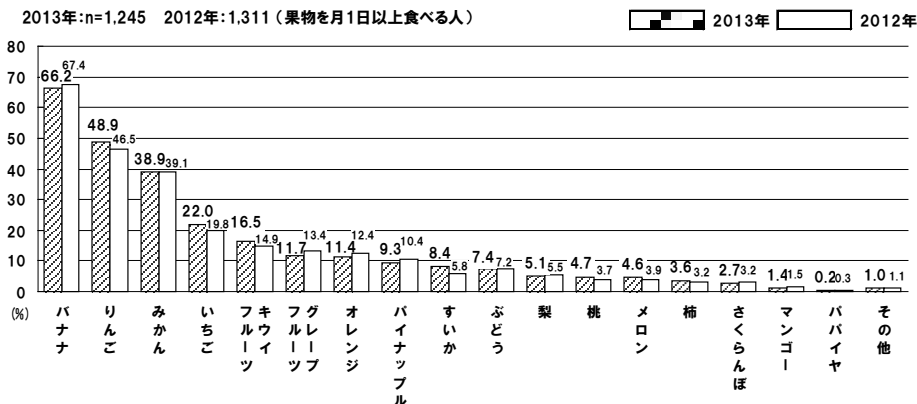
●属性割付：

		人数
合計		1,442
性別	男	721
	女	721
性別×年齢層	男-10代	103
	男-20代	103
	男-30代	103
	男-40代	103
	男-50代	103
	男-60代	103
	男-70歳以上	103
	女-10代	103
	女-20代	103
	女-30代	103
	女-40代	103
	女-50代	103
	女-60代	103
	女-70歳以上	103

よく食べる果物

「バナナ」…約66%、「りんご」…約49%、「みかん」…約39%、「いちご」…約22%
 バナナは回答者の7割近くがよく食べる果物として挙げており、9年連続、よく食べる果物の1位です。

Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。(複数回答/3つまで)



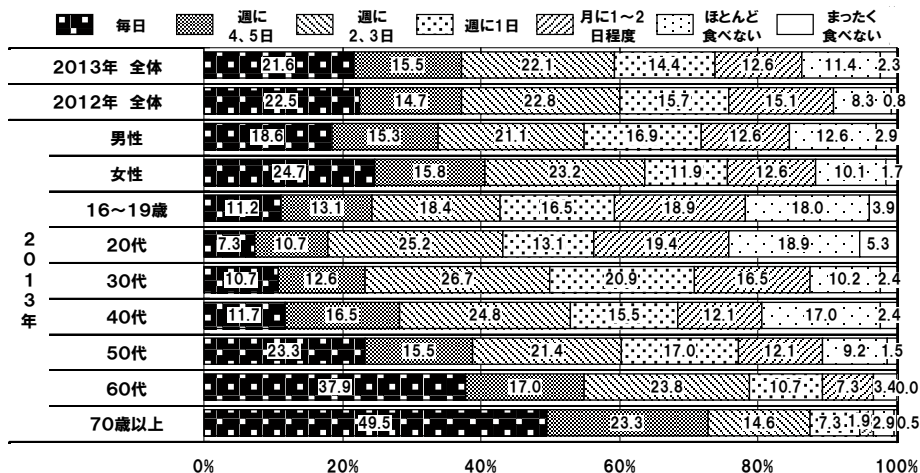
果物を食べる頻度

「毎日」が約22%、「週4、5回」が約16%で、全体の4割近くが「週に4~5回以上」果物を食べています。

「毎日」果物を食べる人は、男性よりも女性がやや多い他、年齢が高くなるほど増える傾向がみられます。

Q. あなたはどのくらいの頻度で果物を食べますか。(単一回答)

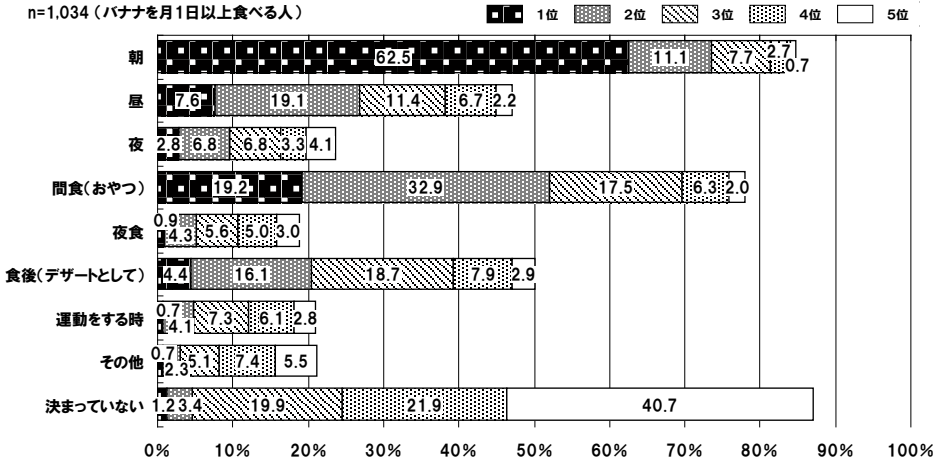
n=1,442 (全員回答)



バナナを食べることが多いタイミング

バナナを食べるタイミングの1位をみると、「朝」が63%と極めて高く、「間食(おやつ)」が約19%と続いています。

Q. あなたはバナナをいつ食べる人が多いですか。(食べる人が多い順に5位まで)(各単一回答)

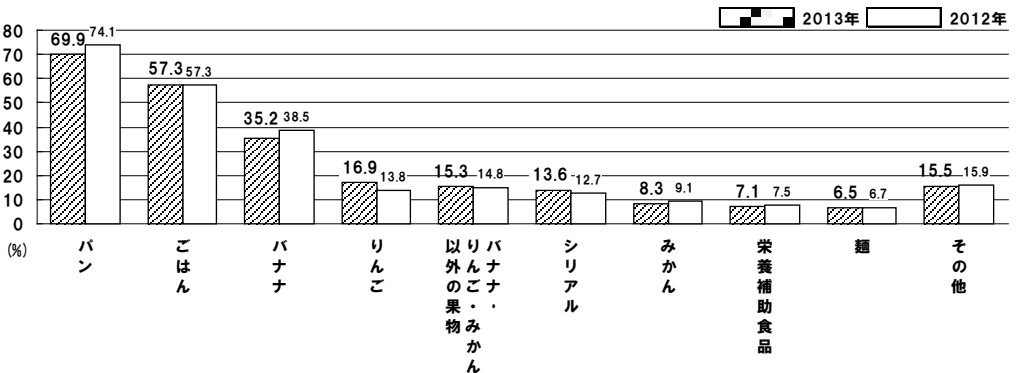


朝食に食べる物

「パン」が約70%で最も高く、次いで「ごはん」約57%、「バナナ」約35%と続いています。時系列でみると、2013年度は2012年度と比べて「ごはん」が横這いで推移した一方、「バナナ」と「パン」の割合は低下しています。

Q. あなたは朝食にどんなものを食べますか。(複数回答)

2013年:n=1,317 2012年:1,317 (朝食を月1日以上食べる人)

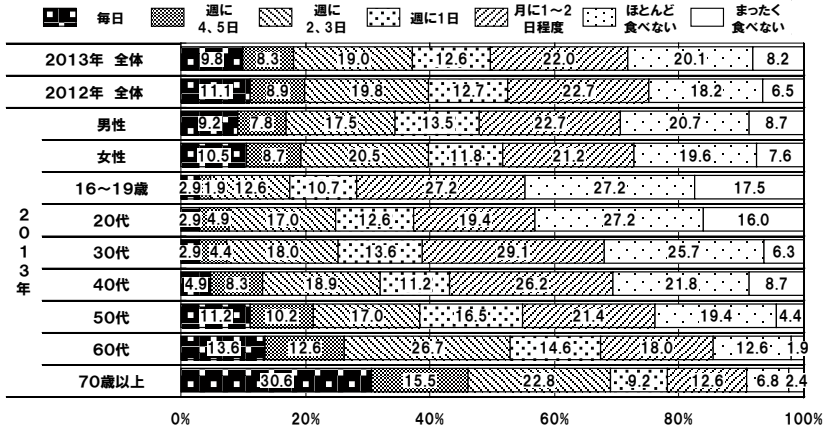


バナナを食べる頻度

「月1～2回程度」が約22%と最も多く、次に「週2、3回」が約19%で続きます。60代以上では、6割以上がバナナを「週1回」以上食べていると回答しています。

Q. あなたはどのくらいの頻度でバナナを食べますか。(単一回答)

n=1,442 (全員回答)



この1年でバナナを食べる頻度（量）が変化した理由

「非常に増えた」「やや増えた」をあわせて約30%、「やや減った」「非常に減った」をあわせて約20%でした。

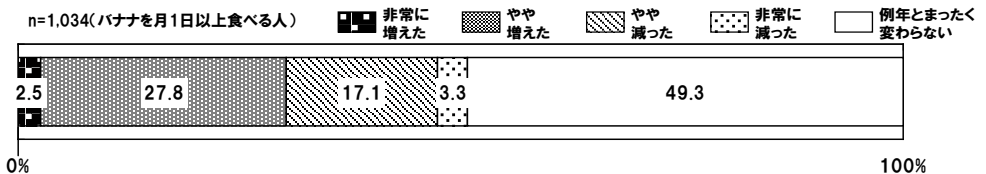
増減理由の傾向は下表にまとめた通りで、主要な増加要因としては「朝食」が目立つものでした。一方、「価格の上昇」が、大幅減少の理由として挙げられています。

Q. この一年で、バナナを食べる頻度（量）はどのように変化しましたか。(単一回答)

Q. この一年でバナナを食べる頻度（量）が変化した理由をお答えください。(自由回答)

■ 増減

n=1,034 (バナナを月1日以上食べる人)



■ 増減理由の傾向 (自由回答を整理)

非常に増えた理由(26名)	やや増えた理由(287名)	やや減った理由(177名)	非常に減った理由(34名)
・朝食	・健康によいと聞いた) ・朝食で食べる ・子供と食べる	・生活変化(独居開始等) ・同居者が買ってこなくなった ・痛みやすい	・価格の上昇

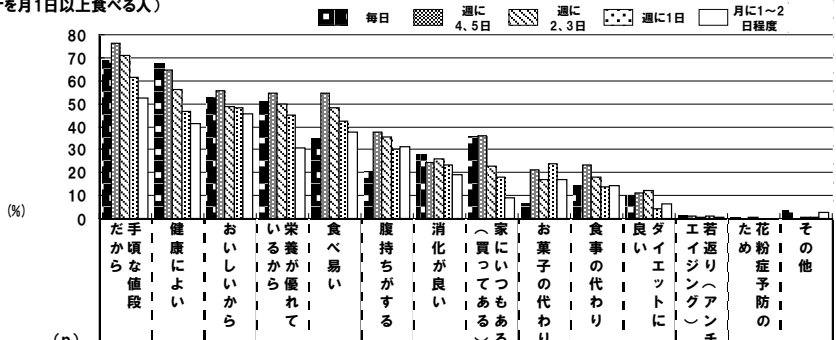
バナナを食べる理由

「手頃な値段だから」が約64%でトップ。次いで、「健康によい」(約53%)、「おいしいから」(約49%)などが上位に挙げられています。

「健康によい」、「栄養が優れているから」は、全般にバナナを食べる頻度が多くなるほど、増える傾向がみられます。

Q. あなたがバナナを食べる理由をお選びください。(複数回答)

n=1,034(バナナを月1日以上食べる人)



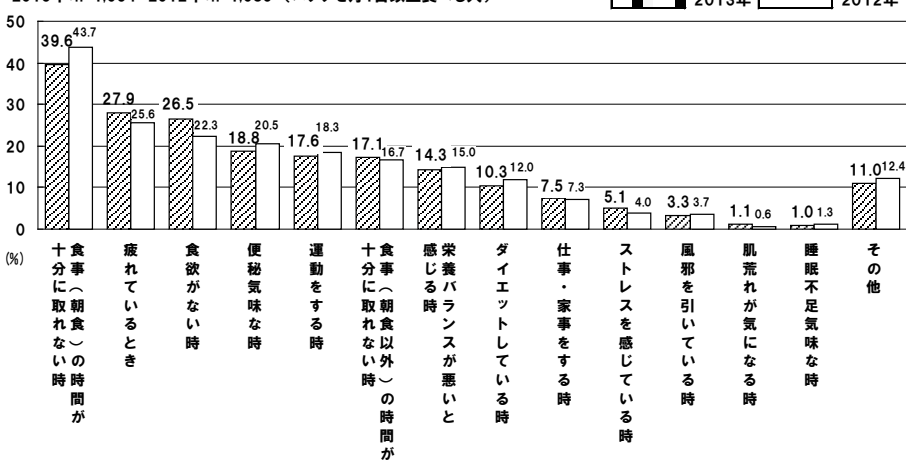
(n)		毎日	週に4,5日	週に2,3日	週に1日	月に1~2日程度										
2013年 全体	1,034	63.9	52.5	49.1	43.9	42.8										
2012年 全体	1,085	66.0	51.2	48.1	44.2	43.3										
2013年 バナナを 食べる 頻度	毎日	142	69.0	67.6	52.8	51.4	35.2	20.4	28.2	35.9	7.0	14.8	9.9	1.4	0.7	3.5
	週に4,5日	119	76.5	64.7	55.5	54.6	54.6	37.8	24.4	36.1	21.0	23.5	10.9	0.8	0.0	0.0
	週に2,3日	274	70.8	56.2	48.9	49.6	48.2	35.4	25.9	23.0	17.2	17.9	12.0	0.7	0.7	0.7
	週に1日	182	61.5	46.7	48.4	45.1	42.3	30.2	23.1	18.1	23.6	13.7	4.4	1.1	0.0	0.5
	月に1~2日程度	317	52.4	41.3	45.7	30.9	37.5	31.2	19.2	8.8	17.0	14.2	6.3	0.6	0.0	2.5

バナナを食べているシーン

「食事(朝食)の時間が十分に取れない時」が約40%で最も高く、「疲れているとき」約28%、「食欲がない時」約27%、「便秘気味な時」約19%が続いています。

Q. あなたはバナナをどんな時に食べたいと思いますか。(複数回答/3つまで)

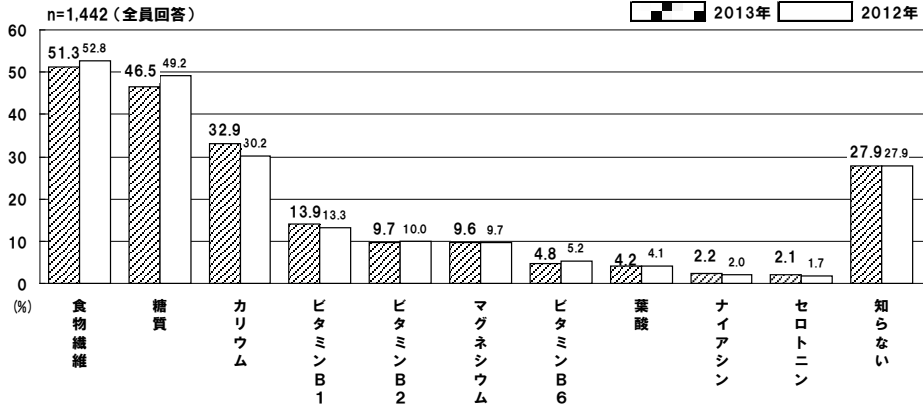
2013年:n=1,034 2012年:n=1,085 (バナナを月1日以上食べる人)



知られているバナナの栄養素

トップは「食物繊維」で約51%、次いで「糖質」約47%、「カリウム」約33%が続いています。その他の栄養素の認知度は、2割未満で低くなっています。

Q. あなたが知っているバナナの栄養素をお選びください。(複数回答)

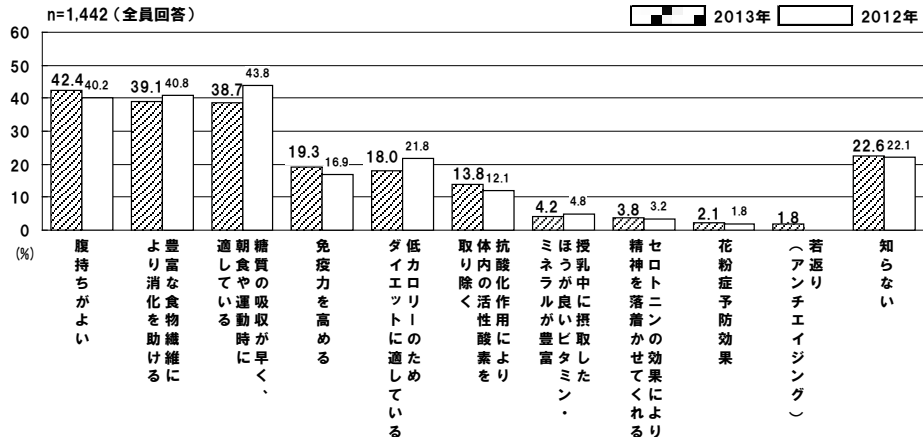


知られているバナナの効果・効能

「腹持ちがよい」約42%、「豊富な食物繊維により消化を助ける」約39%、「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」約39%などが認知の上位です。

一方、「免疫力を高める」や「低カロリーのためダイエットに適している」はいずれも2割を切る認知、「若返り(アンチエイジング)」については、現時点ではほとんど未浸透でした。

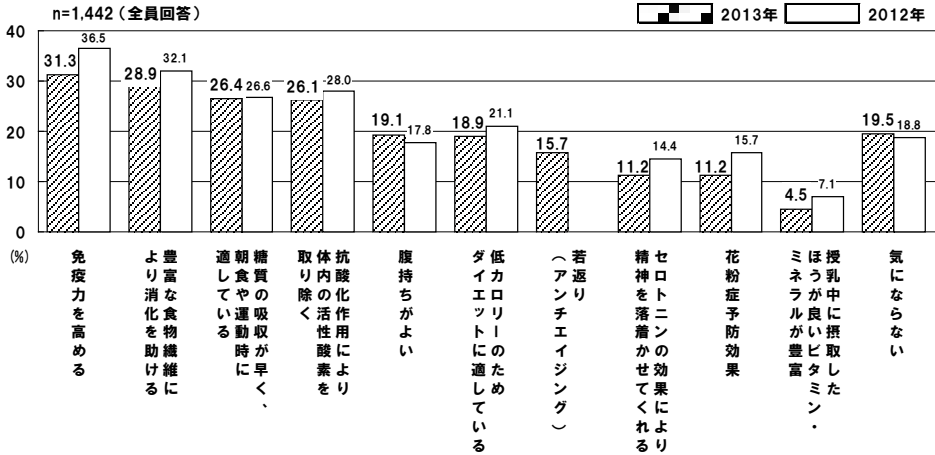
Q. あなたが知っているバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答)



気になるバナナの効果・効能

「免疫力を高める」「豊富な食物繊維により消化を助ける」「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」などがいずれも約2割～3割台で、上位に挙がっています。

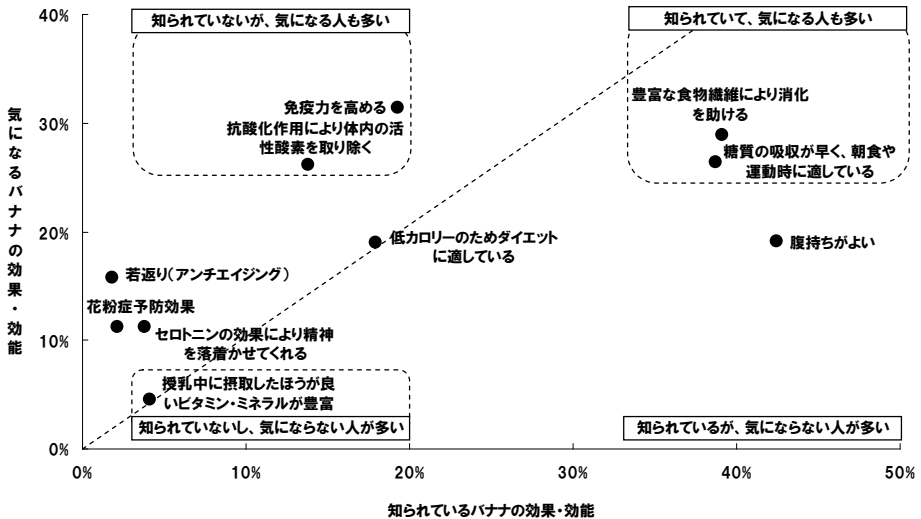
Q. 以下の中から、あなたが気になるバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答/3つまで)



知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能

下の図は、バナナの効果・効能について、知られているものと気になるものの割合の関係を示したものです。

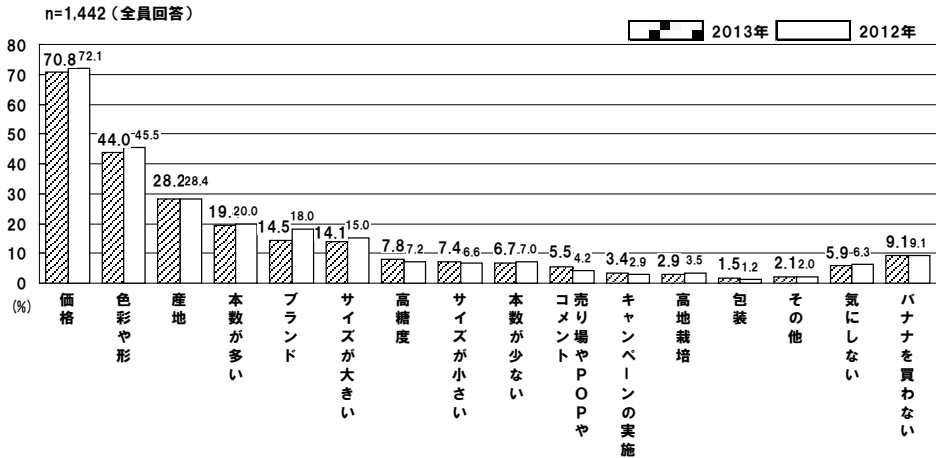
『知られていないが、気になる人が多い』効果・効能としては、「免疫力向上」「抗酸化作用」が挙げられます。



バナナを買うときの基準

「価格」が約71%で最も高く、次いで「色彩や形」約44%、「産地」約28%が続いています。その他の項目は、いずれも2割以下で、あまり購入基準としては高くないようです。

Q. あなたがバナナを買う時の基準をお選びください。(複数回答)



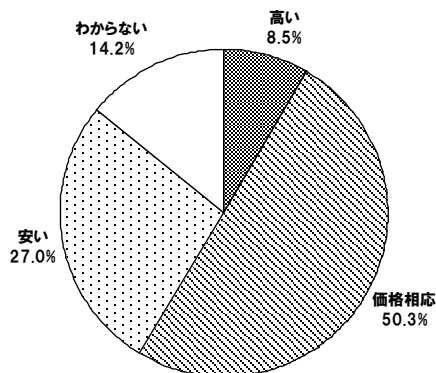
バナナの価格意識

「高い」約9%に対して、「価格相応」約50%、「安い」約27%で、どちらかといえば安いイメージが強い様子がみ取れます。

「価格相応」と「安い」をあわせると8割近くに及ぶことから、バナナはコストパフォーマンスの良い果物とも考えられます。

Q. あなたはバナナの価格をどう思いますか。(単一回答)

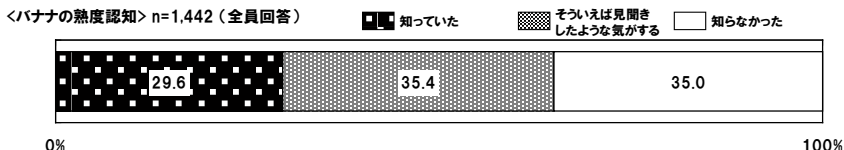
n=1,442 (全員回答)



知られているバナナの熟度

バナナの熟度については、全体の約65%の人が認知していました。

Q.あなたは、バナナにこのような「熟度」があることを、これまでご存じでしたか。(単一回答)



バナナの若返り効果

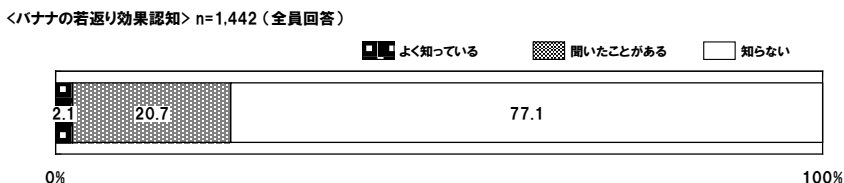
バナナの若返り効果については、「よく知っている」約2%、「聞いたことがある」約21%を合計しても、認知率は約23%にとどまります。

但し、この効果を知ったことにより、バナナの購入・意向者(今よりかなり+やや増える・増えた)割合は、計54%と過半数に及んでいます。

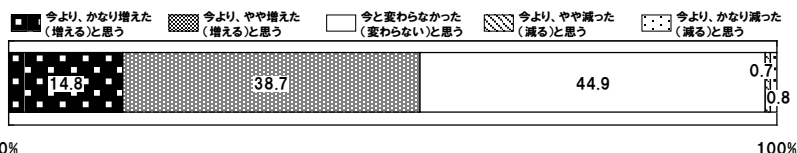
Q.あなたは、このアンケート以前にバナナに若返りの効果があることをご存じでしたか。(単一回答)

Q.女性20人がバナナを1カ月食べ続けた結果、肌の潤いが改善した調査結果があります。

この事実を知った(もしくは今知った)ことで今後のバナナの購入意向を以下より1つ選択ください。(単一回答)



<バナナの肌の潤い改善効果の認知後の購入意向> n=1,442 (全員回答)

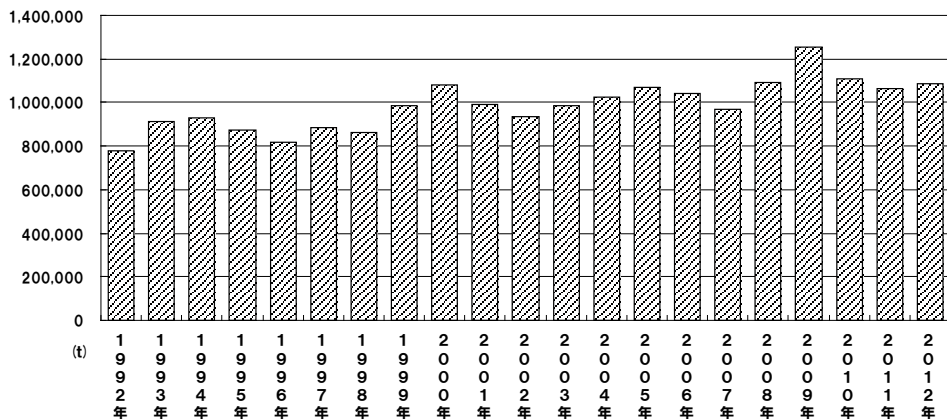


統計資料(財務省貿易統計・総務省統計局家計調査より)

財務省貿易統計

財務省貿易統計のデータによると、2012年のバナナ輸入数量は約109万トンでした。前年までの漸減傾向に歯止めがかかり、輸入量は増加に転じています。

輸入数量

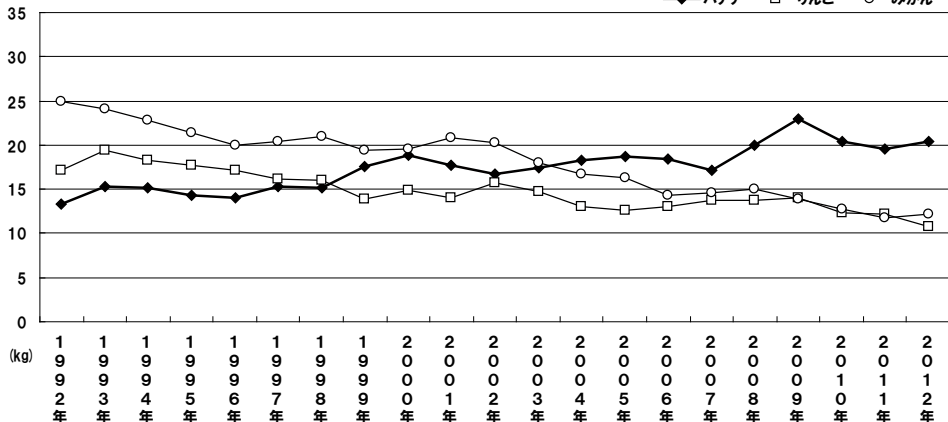


総務省統計局家計調査(世帯区分:2人以上の世帯)

2012年度のバナナの年間消費量は、約20.4kgで、前年の落ち込みから一転、20kg台に戻りました。また、2004年にみかんを抜いて1位となって以来、果物の年間消費量の1位の座は変わっていません。

バナナ・リンゴ・みかんの年間消費量(2人以上の世帯)

◆バナナ □りんご ○みかん



発行

日本バナナ輸入組合

東京都千代田区内神田1-3-1 トーハン第三ビル

お問合せ先

日本バナナ輸入組合広報室

TEL 03-5577-4765

バナナ大学ホームページ <http://www.banana.co.jp>